

《目次》

副病院長インタビュー

【診療科・部門紹介】

▶▶ 呼吸器外科

▶▶ 顎顔面放射線科

▶▶ 看護部

●平成21年度診療案内

●鹿大病院を支える若い力

●病院再開発 新中央診療棟での抱負

●錦江湾魚ごよみ

理念

鹿児島大学病院は、21世紀に輝くヒューマン・トータルケア病院の構築を目指し、医療人の育成及び医学・歯学の研究の充実と発展に貢献すると共に、常に患者さん本位の原点に立った、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 患者さんの権利を尊重し、安心して安全な納得のいく治療を心がけます。
2. 質の高い医療、先進的医療の充実を図り、地域の中核的医療機関として貢献します。
3. 教育・研修病院として、地域の医療機関との連携を図り、人間性豊かな使命感にあふれる医療人を育成します。
4. 診療を通じてわが国の医学・歯学の研究を推進し、医学・歯学及び医療の国際貢献を目指します。
5. 安全で効率の高い病院運営体制を確立します。

患者さんの権利と責務

《患者さんの権利》

1. 誰でも良質な医療を公平に受ける権利があります。
2. 人の尊厳は、医療行為のあらゆる場面において尊重されます。
3. 医学的な状態、診断、処置その他の個人情報保護されます。
4. 治療・検査の方法、薬の内容等について十分な情報と説明を受け、理解した後、同意・拒否を選択する権利があります。
5. 診療録等に記録された自己の診療内容について、本院の規則により、情報の提供を受ける権利があります。

《患者さんの責務》

1. 医療従事者が最善かつ適切な診療を行うために、自身の健康状態に関する情報をできるだけ正確に伝える責務があります。
2. すべての患者さんが適切な医療を受けられるようにするために、院内の医療の妨げとならないように協力する責務があります。

## 健康寿命を伸ばすには 口の中の定期検診が大切です

鹿児島大学病院  
長岡 英一 副病院長（歯科担当）



— 本日は副病院長就任にあたっての抱負をお伺いします。まず、鹿児島大学病院の歯科の特徴について教えてください。

**副病院長** 鹿児島大学病院の歯科の最大の特徴として、離島巡回診療の実施があります。毎年、鹿児島県内の離島11カ所を回り、歯学部の教員、研修医、県歯科医師会口腔保健センターの歯科衛生士が島民の方々の診療を行なうものです。歯学部の6年生も同行し、診療やブラッシング指導の介助などを体験しながら、離島の歯科診療について学んでいます。

患者さんへのサービスという観点でいえば、診療時間の延長があります。より多くの患者さんに歯科を利用していただきたいとの考えから、17時までだった診療時間を18時30分に延ばしました。

— これから力を入れていこうと考えておられることについてお聞かせください。

**副病院長** まず、鹿大病院には「教育病院」としての役割があります。歯学部の6年生は、教員の指導の下で診療を行って基本的な診療手技を身につけますが、患者さんと接する経験は、患者さんの痛みや、良くなったときの喜びを知ることにつながります。優れた学生が育てば鹿大病院の質も上がり、患者さんにも質の高い医療を提供できる、という良い循環が生まれます。教育病院としての役割に今後もご理解をいただきたいと思います。

次に、大学病院の歯科医は研究者であり、その多くは専門医でもあり、研究成果の教育や社会への還元、専門性の高い高度な医療の提供が求められています。鹿大病院の歯科には現在20ほどの専門外来がありますが、その状況を検証し、内容をさらに充実させていくことも検討しています。ご期待下さい。

近年は、糖尿病や心臓病に歯周病が関係すること、口腔ケアが誤嚥性肺炎（食べたものが誤って気管に入っこえんて起きる肺炎）の防止に有効であることなどが明らかになり、口の中の健康と全身疾患の関係に注目が集まっています。口の中を健康に保つことで手術後の在院日数が減るというデータもあります。今後も医科と連携し、入院患者の方々の口腔ケアをこれまで以上に充実させるとともに、県歯科医師会との連携を一層緊密なものにしながら、鹿児島県全体の歯科医療の向上に努めていきます。

— 最後に、患者さんへのメッセージをお願いします。

**副病院長** 大学病院には簡単な治療で行ったらだめなのでは、難しい病気が診てもらえないのでは、と考える患者さんもいらっしゃるでしょう。しかし、普通の診療と定期検診を行い、必要があれば高度医療も提供するのが鹿大病院の歯科の役割です。口が健康であれば、おいしくものを食べることができ、おしゃべりも楽しくなります。平均寿命が延びるのは喜ばしいことですが、健康な状態で過ごす「健康寿命」こそ大切であり、健康寿命に歯科が大きく関わっています。今後、さまざまな形でのPRを行っていきますので、一人でも多くの方に鹿大病院の歯科をぜひご利用いただきたいと思います。

## 呼吸器外科

## 傷が小さく痛みの少ない胸腔鏡下手術

呼吸器外科では、肺・縦隔・胸膜・胸壁などの胸部疾患の診断・外科治療を行っております。主な疾患は肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、嚢胞性肺疾患（自然気胸など）、胸膜中皮腫、外傷です。肺癌は、病巣の可能性のあるところをすべて切除しない限り治癒させることができないため、病気の進行と患者さんの状態を勘案しながら完全切除を第一目標とした手術を行っております。一方、手術侵襲の軽減を目的として、小型肺癌、自然気胸、



胸腔鏡下肺葉切除術の皮膚切開  
約4～7cmの小切開1ヶ所  
約2cmの小切開2～3ヶ所

縦隔腫瘍、重症筋無力症などに対し、小さな手術創による胸腔鏡下手術を積極的に取り入れております。胸腔鏡下手術とは、胸腔鏡というスコープを胸腔内に入れて、テレビモニターに映し出される画面を見ながら手術を行う新しい手技です。従来の開胸手術のように大きく切開したり肋骨を切ったり、取ったりしないので、傷が小さく痛みも少なく、したがって入院期間も短く、早く職場復帰ができるという手術法です。

なお上記疾患に関することは、お気軽に呼吸器外科外来へご相談下さい。  
〈初診受付〉 8:30～11:00

月・水 TEL 099-275-5803 火・木 TEL 099-275-5815

## 顎関節症の画像診断法の最前線

アゴが痛かったり、口を開ける時に音がしたり、口が開きにくいといった病気を「顎関節症(がくかんせつしょう)」と言います。顎関節症で鹿児島大学病院に来院される患者さんは年々増えてきており、当病院では『顎関節症専門外来』を設け、各診療科がチームを組んで診断と治療に当たっております。顎顔面放射線科では、顎関節や周りの筋肉の異常をエックス線写真やMRIを用いて的確な診断を行っており、診断に基づいたより良い治療を受けることができます。

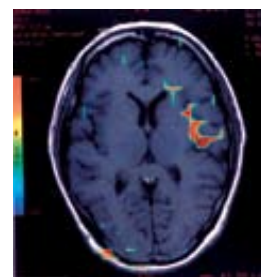
この分野における画像診断法のトピックスとして、脳機能イメージ法があげられます。かみあわせやアゴの筋肉の異常といったアゴの機能障害は、単にアゴの局所病変としてだけではなく、歯周病、糖尿病、顎関節症といった生活習慣病や老化と関わりが深いことが知られています。当科では、こういったアゴの機能異常の有無を脳機能イメージ法を用いて、検査および診断を行っております。

顎関節症の画像検査法や症状のことでご質問がございましたら、顎顔面放射線科までご連絡ください。

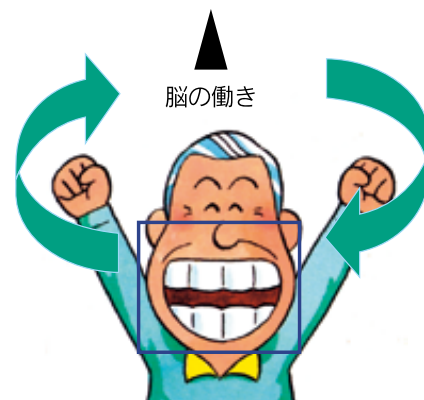
〈初診受付〉月～金(8:30～16:00)

TEL 099-275-6610

## 顎顔面放射線科



脳機能イメージ



「良い歯でいきいき健康ライフ」より

かみあわせやアゴの筋肉に異常があれば、脳機能イメージで赤く表示される。

# 平成21年度 鹿児島大学病院 診療案内

H21.7.1現在

●初診・再診 ●初診 ○再診 — 休診 ●指定来院

〈医科診療部門科名〉	階	月	火	水	木	金
心臓血管内科	2	●	●	○	●	●
心臓血管外科	3	○ 予約制	●	○ 予約制	●	○ 予約制
消化器内科	2	●	○ 検査のみ	○ 検査のみ	●	○ 検査のみ
消化器外科(I)	3	●	—	●	—	—
消化器外科(II)	3	—	●	—	●	—
神経内科	2	○	○	●	○	●
脳神経外科	3	—	●	—	●	●
呼吸器内科	2	●	—	●	●	●
呼吸器外科(I)	3	●	—	●	—	—
呼吸器外科(II)	3	—	●	—	●	—
心身医療科	3	● 午前	○ 午前	○ 午前	● 午前	○ 午前
腎臓内科	2	●	—	○	●	●
泌尿器科	3	●	○	●	○	●
血液・膠原病内科	2	●	●	●	●	●
糖尿病・内分泌内科	2	●	●	●	●	●
乳腺・内分泌外科	3	●	○ 予約制	●	—	—
神経科精神科	3	●	—	●	●	●
小児科	2	● 午前 ○ 午前 ● 午前	● 午前 ○ 午前 ● 午前	● 午前 ○ 午前 ● 午前	● 午前 ○ 午前 ● 午前	● 午前 ○ 午前 ● 午前
小児外科	3	—	○ 予約制	● 午前	○ 予約制	—
産科、婦人科	3	○ 午前	●	○ 午前	●	○ 午前
整形外科・リウマチ外科	2	● 午前 ○ 午後 ● 予約制	● 午前 ○ 午後 ● 予約制	● 午前 ○ 午後 ● 予約制	—	○ 午前 ● 予約制
皮膚科	3	●	●	—	●	●
眼科	2	●	—	●	—	—
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3	●	○ 検査のみ	●	○ 検査のみ	●
放射線科	2	●	●	●	●	●
麻酔科	3	●	○ 術前診察のみ	—	●	●
リハビリテーション科 (霧島リハビリテーションセンター)	1	●	—	●	—	●

〈歯科診療部門科名〉	階	月	火	水	木	金	
口腔保健科	3	●	●	●	●	●	
矯正歯科	3	●	●	●	●	●	
小児歯科	3	●	●	●	●	●	
保存科	2	●	●	●	●	●	
歯周病科	2	●	●	●	●	●	
冠・ブリッジ科	2	初診は奇数日、再診は月～金					
義歯補綴科	2	初診は偶数日、再診は月～金					
口腔外科	3	●	○	○	●	○ 2・4週のみ	
口腔顎顔面外科	3	○	●	●	○	○ 1・3・5週のみ	
顎顔面放射線科	1	●	●	●	●	●	
歯科麻酔科	3	○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制	○ 予約制	
全身管理歯科治療部	2	○	●	○	●	○	
歯科総合診療部	2	●	●	●	●	●	

## ▶ 紹介状について

本院は、高度の医療を提供する「特定機能病院」となっております。本院を初めて受診される際は、他の医療機関からの紹介状をご持参されるようお願いいたします。紹介状のない方は、3,150円(特定療養費)を自己負担していただくこととなりますので、ご了承ください。

## ▶ 予約診療制について

再診は予約診療制を実施しておりますので、当日の診療が終わりましたら、診療部門科で次回の診察を受けられる日時を予約してください。(予約なしでも受診できますが、待ち時間が長くなります。)



医科診療棟

「女性専用外来診察」は完全予約制になっております。

### 連絡先

TEL(女性専用外来) 099-275-5970(14:00~17:00)

【受付時間】8:30~11:00

【診療時間】8:30~17:00

【休診日】土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)

※診療部門科の都合により、診療日が変更になることもあります。



歯科診療棟

歯科の再診はすべて予約制です。

【受付時間】(初診)8:30~16:00

※口腔外科・口腔顎顔面外科は12:00まで

(再診)8:30~17:30

※歯科の再診はすべて予約制

【診療時間】8:30~18:30

【休診日】土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)

※診療部門科の都合により、診療日が変更になることもあります。

鹿大病院を支える

若い力

—第2回—



臨床技術部 臨床工学部門  
臨床工学技士長 谷口賢二郎



人工呼吸器のメンテナンス

## 臨床工学技士は「縁の下の力持ち」

私は平成17年4月から鹿児島大学病院で働いています。その前は埼玉医大に5年間勤めていました。

臨床工学技士は、国家資格をもつ医療機器についてのスペシャリストで、人工心肺や血液浄化装置の操作や保守・点検を専門に行います。生命維持管理装置を扱う、緊張度が非常に高い仕事です。医師や看護師ほど患者さんとの直接の接点はありませんが、「縁の下の力持ち」と呼ばれる職業です。

鹿大病院では9名の臨床工学技士が、手術室、救急部、血液浄化療法部、医療器材管理部ME部門の医療機器約1,100台を管理しています。医療機器が安全で適切に使用されているか、全病棟を巡回してアドバイスするのも私たちの仕事です。

## 患者さんにとって一番いい治療をめざす

医療機器は日々進歩しますし、医療機器を扱うには人間の生体を知ることが大切です。毎日が勉強です。機器の設定をしたり、薬剤を工夫したりすることで、明らかな効果が現れたときはやりがいを感じます。体力的にも精神的にも大変な仕事ですが、この仕事に就いたことを後悔したことはありません。

臨床工学技士は専門性が高く、医療機器を安全に取り扱うための環境づくりや機器のコスト削減などに重要な役割を果たしていますが、鹿児島では人数が少なく、認知度が高いとは言えません。存在意義を認められるよう、医師や看護師の方々との信頼関係を大切にしながら研鑽を積み、患者さんにとって一番いい治療をめざしたい。それが社会への貢献にもつながると考えています。

## TOPICS

病院  
再開発

現在の建物は築後30年以上が経過しているため、病院内施設の充実、患者さんの療養環境改善を目的に、平成19年度から10年間で建物の増築・改修を行っています。期間中、ご不便をおかけするかもしれませんが、ご協力をお願いします。

## 新中央診療棟での抱負 ～検査部～

平成21年6月完成の新中央診療棟へ来年1月に移転する検査部をご紹介します。

### ● 検査部 “虫の眼と鳥の眼”の情報重視型統合検査システムの新しいすみか

検査部は「血液検体検査」、「細菌検査」、「生理検査(心電図、呼吸機能など)」に加えて「腹部・心血管エコー検査」などの検査を全て統合し、一つの生態情報として発信しています。日本でも類のないシステムです。このシステムは、今度、「中央診療棟」に新拠点を与えられました。システムも部員も、“虫の眼”と“鳥の眼”で、大いに診療に寄与したい、と意気込んでいます。



新中央診療棟

## 看護部

## 呼吸療法認定士の仕事

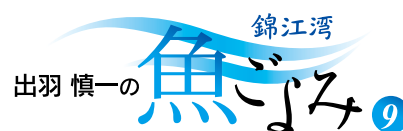
呼吸療法士の活動は看護師、理学療法士、臨床工学技士がそれぞれの業務の範囲で医師と医療チームを構成し、効果的な呼吸療法を実践することを目的としています。看護部では平成16年に初めて「呼吸療法認定士」の資格を取得し、平成17年より看護師を中心に年6回の勉強会を開催しています。現在約10名の認定士がおり、専門知識と技術の習得・向上に努め、互いに協力しながら病棟からの呼吸器管理や勉強会の依頼に対応しています。専門知識を持って呼吸訓練や、排痰の援助を行うことで患者さんの状態が少しでも改善するとうれしいです。

今後は呼吸療法認定士のみでなく、医師・看護師・理学療法士・臨床工学技士・歯科衛生士とチームを組んで病棟訪問や院内の呼吸器疾患患者の管理を行い、呼吸状態の改善や早期離床につなげられる活動をしていきたいと考えています。



看護技術支援の様子

## キビナゴの大産卵



夏のある日、私は期待で胸を膨らませて、桜島の南に浮かぶ沖小島の海底に待機していました。夏の錦江湾は透明度が悪く、緑色に濁った水が視界を狭くします。

15分ほど経った頃、銀鱗を輝かせた小魚の群れが私を取り囲みました。鹿児島の名物、キビナゴの大群が現れたのです。キビナゴたちは、普段は、海の中層をゆっくりと泳ぎながら、プランクトンを食べて生活しています。ところが今は違います。海底近くを、猛スピードで駆け抜けて行きます。丸々と太ったキビナゴたちは、実は、この海底に産卵に訪れたのです。

やがて、数匹のキビナゴが海底に腹部をこすりつけながら、まるでねずみ花火のように、クルクルと回り始めました。産卵が始まったのです。それを合図にしたかのように、キビナゴの群れが、一斉に海底に降り注ぐように降りてきました。たちまち海底は、沸き立つキビナゴの群れに覆いつくされました。この瞬間を待って、私はシャッターを立て続けに切ります。写真が撮れる時間はわずかしかなのです。

間もなく、キビナゴたちが放った精子が白い雲となって海底から湧き上がり、視界は完全に遮られてしまいました。目の前で繰り広げられるキビナゴたちの生命のドラマに、私はただ海底に立ち尽くしていました。



産卵のため海底に降りたキビナゴの群れ。画面左側で産卵が始まろうとしている。

 広報誌編集部会からのお知らせ

鹿児島大学病院の診療内容、病気について的一般知識など知りたいことがありましたら、お知らせください。

また、「桜ヶ丘だより」への皆様方からのご意見・ご感想をお待ちしております。

## 鹿児島大学病院広報誌 桜ヶ丘だより〈14号〉

2009(平成21)年7月発行

発行／鹿児島大学医学部・歯学部附属病院広報委員会広報誌編集部会

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号 TEL 099-275-6692

【鹿児島大学病院ホームページアドレス】

<http://com4.kufm.kagoshima-u.ac.jp/>